



岩瀬小だより

教育具体目標

学び合える子・人につくせる子・根気強く取り組める子

学校通信 No. 1 1
令和3年12月24日
羽生市立岩瀬小学校
TEL 561-0803



「1年を振り返る」 ～継続は力なり～

校長 駒宮 恵美子

明日から、17日間の冬休みとなります。2021年は、どのような1年だったでしょうか。ゆく年を振り返り、来る年に想いを寄せる。そうした年の瀬を過ごされるのではないのでしょうか。

おかげさまで岩瀬小学校も、本日81日間の2学期を終了することができました。

本日の終業式では「継続は力なり」という話をしました。岩瀬小学校では、朝、登校すると火・木曜日は2、4、6年生、水・金曜日は1、3、5年生が朝マラソンを行っています。新型コロナ感染症の関係で、実施できない時期はありましたが、児童は自分が走った周数を記録しています。2学期末までの記録で、300周を超えている児童もいます。低、中、高学年によって走るトラックは違うのですが、高学年トラック（約280m）を300周走った児童は約84,000m（84km）を走ったこととなります。

この距離を岩瀬小学校からの半径で調べてみると、南は横浜、東は水戸、北は男体山、西は碓氷峠までの距離となります。1日の走った距離は少なくとも、継続することでこれだけの距離を走ったことになるのです。



毎日の少しずつの積み重ねが、大きな成果となるのですね。1年生の児童の中には、「100周を目指す！」と言って、昼休みに自分から走っている児童もいました。一人一人の目標に向かって頑張る姿はとても素晴らしいものだと感じました。

「一年の計は元旦にあり」という言葉もあります。新しい年を迎え、これまで続けていたものを気持ち新たに続ける決意をするもよし、また何かに挑戦するものを見付けることもよしだと思います。御家庭でも新年を迎えるにあたり、話題の一つとしていただきたいと思います。

保護者、地域の皆様には、2021年も多くの御理解、御協力をいただきありがとうございました。2022年もよろしくお願ひいたします。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

改めて「命」の大切さを感じる時

年末は「今年も健康で過ごすことができた。」と振り返り、年始には「今年1年、健康で過ごせますように」と願うのは、私だけではないと思います。何より、大切なものは「健康」であり「命」です。

6月の学校だよりにも書きましたが、「命」は一人一人が与えられた、限りあるものです。その限りある時間をどのように大切に過ごすかを考えなくてはなりません。

【ぜひ、覚えておいてほしいこと】

- ①「命あつての物种」生きていれば何とかなる。今があることは本当に素敵なことであるということ。かけがえのない自分の命、周りの人の命を大切に！
- ②相手の気持ちを考えた言動をしてほしいということ。人の痛みが分かる人になってほしい！
- ③自分との違いをその人の個性として認めてほしい（多様性）ということ。いじめや差別のない思いやりにあふれた岩瀬っ子であってほしい！
- ④体調が変だなと思ったら、病院に行してほしいということ。そして一定の年齢（大人）になったら、健康診断を受けてほしい。早期発見、早期治療が命を守る！

令和3年度第68回埼玉県学校歯科保健コンクール PTA活動優秀校（県内10校）に選ばれました。

日頃より学校歯科保健に御理解、御協力をいただきありがとうございます。このたび、県内10校が選ばれる「PTA活動優秀校」に本校が選ばれました。虫歯治療など、御家庭の御協力あつてのことです。歯は一生使う大切なものです。子供たちがこれから先も自分の歯で美味しく食事をし、健康でいられますよう学校でも取り組んで参ります。冬休みとなりますが、これまで同様、御家庭でも声かけや見届け、仕上げ磨きなどよろしくお願ひいたします。



【児童の皆さんへ 冬休み中の宿題です。】

- 1 事件や事故に遭わない
- 2 病気やけがをしない
- 3 始業式に元気に登校する



